

第 14 回研究施設等廃棄物連絡協議会 議事録（案）

1. 日時 平成 29 年 2 月 16 日（木）13：30～15：15

2. 場所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 第 5 会議室

3. 出席者（敬称略）

（委員）勝村*1、市川*1、菊池*2、澁谷*2、○大谷*3、長谷川*3、小林*3

（事務局）坂本*3、星野*3

（*1 RI 協会、*2 RANDEC、*3 JAEA、○議長）

4. 議題

- （1）議長挨拶
- （2）第 13 回議事録の確認 資料 14-1
- （3）原子力機構における埋設事業の実施状況 資料 14-2
- （4）日本アイソトープ協会における廃棄体の作製について 資料 14-3
- （5）原子力バックエンド推進センターにおける処理事業
準備状況 資料 14-4
- （6）廃棄体検討WGの実施状況 資料 14-5
- （7）その他

5. 配布資料

資料 14-1 第 13 回議事録（案）

資料 14-2 原子力機構における埋設事業の実施状況

資料 14-3 我が国における医療用サイクロトロン
の廃棄と放射性金属のリサイクルについて

資料 14-4 大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況

資料 14-5 廃棄体検討WGでの検討状況

（参考）研究施設等廃棄物連絡協議会委員

6. 議事概要

（1）議長挨拶

大谷議長より新任委員の紹介と近況報告を含め挨拶があった。また、RI 協会・勝村委員・市川委員、RANDEC・菊池委員より各法人の近況を含め挨拶があった。

(2) 前回議事録(案)

資料 14-1 に基づき、事務局より前回議事録(案)について説明し、委員の了承を得た。

(3) 原子力機構における埋設事業の実施状況

資料 14-2 に基づき、事務局より機構の実施状況として、平成 28 年度に実施した埋設処分業務の内容について説明を行った。

(4) 日本アイソトープ協会における廃棄体の作製について

資料 14-3 に基づき、RI 協会より医療用サイクロトロン廃棄と、それに伴い発生する放射化金属のリサイクルの事例について紹介があった。

日本でのリサイクル物の利用にあたっては、規制制度の整備と利用先の確保が課題との意見があった。

(5) 原子力バックエンド推進センターにおける処理事業準備状況

資料 14-4 に基づき、RANDEC より大学・民間等の研究施設等廃棄物の処理事業準備状況について紹介があった。

(6) 廃棄体検討WGの実施状況

資料 14-5 に基づき、事務局より平成 28 年度に実施した廃棄体検討WGでの検討状況について報告を行った。

(7) その他

次回開催時期については、事務局より後日連絡することとした。

以上